六甲山サイレンスリゾート

「森のエシカル・マルシェ」開催

旧六甲山ホテルを修復した複合リゾート施設「六甲山サイレンスリゾート」は５月５、６日、旧館１階の物販スペース＝**写真**＝などで「森のエシカル・マルシェ」を催す。

同施設は2019年、イタリア人建築家ミケーレ・デ・ルッキさんが工事を指揮して開設。六甲山の自然環境との共存を掲げ、マルシェは地域の魅力を引き出し、持続可能な未来を目指して企画。

美濃和紙のアクセサリーや再生プラスチック類を使ったニットバッグ、廃棄野菜から作った絵の具、ヒノキのおもちゃなどが並ぶ。

両日午前11時～午後６時。入場、駐車場とも無料。２階のカフェテリアでは予約制のアフタヌーンティーを提供している。予約はホームページ☎078・891・0650

神戸市立森林植物園

ツツジ、シャクナゲ 順次見ごろに

神戸市立森林植物園はイベント「植物園の新緑・つつじ・しゃくなげ散策」を開催している。５月25日まで。

同園では４月中旬から順次、コバノミツバツツジやヤマツツジ、モチツツジ、カルミアなど32種類のツツジのほか、ツクシシャクナゲやアズマシャクナゲなど日本原産種のシャクナゲ７種類が見ごろを迎える＝**写真**。

イベント期間中の土日・祝日、自然と触れ合える森林ガイドツアーやネイチャーゲーム体験、森林浴ヨガ、植物講座など、多彩な企画を実施する。

さらに大型連休中の５月３～６日には「ＧＷは植物園へいこう!!」と題し、マルシェやコンサート、草木遊びなども催す。同園☎078・591・0253

神戸の観光農園

イチゴ狩り シーズン到来

神戸市内の観光イチゴ狩り園が本格オープンしている。家族や友人、カップルで、甘い摘みたてイチゴを召し上がれ＝**写真**。６月上旬まで。

イチゴ狩り園は、同市北区＝二郎農園（有野町二郎）、大沢農園（大沢町上大沢）、長尾農園（長尾町上津）、上淡河農園（淡河町中山）、同市西区＝神出農園（神出町小東野）、細田農園（押部谷町細田、露地栽培のため５月上旬から）。

各園とも予約を。入園時間は30～45分（農園により異なる）。中学生以上2300円、小学生1600円、幼児1300円、３歳未満は無料（中学生以上１人につき１人、２人目から500円）。各園の詳細は同市観光園芸協会ホームページhttp://www.kobe-kanko-engei.jp/

六甲大学 ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。　（次回は５月19日に掲載します）

ヴォーリズ山荘 コテージオープン

草屋根映える木造建築 カフェとギャラリー併設

根岸真理が案内 山の四季便り

国登録有形文化財や近代化産業遺産などに認定されている「ヴォーリズ六甲山荘」。その敷地内に５日、新施設のコテージがオープンした。カフェとさまざまな工芸品を紹介するクラフトセンターを備え、５月11日まで工芸家５人による展覧会が開かれている。

山荘は1934年、米国人建築家ヴォーリズによる設計で建てられ、NPO法人「アメニティ2000協会」（西宮市）が所有し、コテージは敷地内の「ヴォーリズ記念・きょうだいの森」に整備された。

先日、公開前の内覧会にお邪魔した。神戸ゴルフ倶楽部北西側の道沿いにある山荘入口から入り、きょうだいの森の散策路を下る。ヴォーリズ建築の部材の一部を移築した休憩所「室谷邸記念館」がある広場を通り抜けると、周囲の緑に溶け込むように、たたずむ木造平屋の建物（約65平方㍍）が見えてきた。

ゆかりの意匠、部材

緑と茶が混じった不思議な屋根は草屋根。シロバナタンポポやシュンラン、リュウノヒゲ、ハンゲショウ、ゲンノショウコ、ヒゴスミレ、サギゴケの計７種の多年草が植わり、四季を感じられるそう。

コテージ正面は県道16号に面し、駐車場もある。基本設計をヴォーリズ建築研究の第一人者、山形政昭さん（吉野ヒノキを使った照明器具）が出品。販売もしている。いずれも同法人のメンバーで、コテージにも作品が使われているそう。

カフェでは山荘カレーや手作りケーキ、コーヒーなどのドリンクを味わえ、山荘に入館せずカフェのみの利用もできるが、入館者はコーヒー、紅茶が割引になるのでお得だ。新築ならではの木の香りが漂い、六甲山の自然を体感できる居心地のいい空間。新緑の季節、窓からの景色はさらに輝きを増すに違いない。

開館は土日・祝日のみ（11月24日まで）。山荘入館料500円。午前11時～午後4時（受付は30分前）だが、月１回ほど夜間のライトアップも検討しているそうで、それも楽しみだ。同協会☎0798・65・4303

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう！」など。

工芸作家５人展開催中

開催中の展覧会「工芸の集積５人展」には、森本さんのほか、西田光男さん（鍛鉄）、福嶋秀子さん（和紙）、角倉起美さん（陶芸）、坂本尚世さん（吉野ヒノキを使った照明器具）が出品。販売もしている。いずれも同法人のメンバーで、コテージにも作品が使われているそう。

カフェでは山荘カレーや手作りケーキ、コーヒーなどのドリンクを味わえ、山荘に入館せずカフェのみの利用もできるが、入館者はコーヒー、紅茶が割引になるのでお得だ。新築ならではの木の香りが漂い、六甲山の自然を体感できる居心地のいい空間。新緑の季節、窓からの景色はさらに輝きを増すに違いない。

開館は土日・祝日のみ（11月24日まで）。山荘入館料500円。午前11時～午後4時（受付は30分前）だが、月１回ほど夜間のライトアップも検討しているそうで、それも楽しみだ。同協会☎0798・65・4303

新しくオープンした「ヴォーリズ・コテージ」の正面＝いずれも神戸市灘区六甲山町北六甲

カフェの窓の外には室谷邸記念館が見える

工芸家５人の作品展。出品中の陶芸家で同コテージ・クラフトセンター長でもある角倉起美さん

健康学部

◆山上でストレッチヨガ　４月25日、５月30日、６月27日（10月までの最終金曜）、11～12時ごろ、摩耶山掬星台周辺（摩耶ロープウェー「星の駅」下車）。屋外でヨガマットに寝転がり、脳の疲れをリセット＝**写真**。講師は背骨コンディショニングインストラクターのミナミキヨミさん。1000円。飲み物、ヨガマット持参（レンタルは別途200円）。定員15人、予約優先（当日参加可能）、電話または摩耶山ポータルサイト（mayasan.jp）から。雨天中止（前日決定）。monte702☎078・882・3580（火・木曜定休）

◆初夏の武田尾花盛り　渓流沿いの自然観察を楽しむ　５月11日９時半、ＪＲ武田尾駅集合。武田尾駅―温泉橋―右岸下流―右岸上流―武田尾橋―武田尾駅（同駅から武田尾橋に向かう、反対のコースになるグループもあり）。サツキやシライトソウ、ウツギなどを観察しながら川沿いを散策＝**写真**。珍しいヨコグラノキやツメレンゲなどもあり、多様な植物が生育する武田尾の魅力を味わう。弁当や飲料水、雨具、観察用具など持参、ハイキングに適した装いで。参加費300円。予約不要。雨天中止。詳細は「六甲山自然案内人の会」ホームページ

芸術学部

◆SIKIガーデンコンサート　８月17日までの日曜、および７月19、21日。12時35分、13時35分、14時35分（各約20分）。ROKKO森の音ミュージアム・SIKIガーデン（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「ミュージアム前」）。四季の草花が植わる庭園で演奏家の生演奏や＝**写真**、オルゴールなどの自動演奏楽器の音色、演奏体験ほか。日により出演者や内容が異なる。無料（別途入館料中学生以上1500円、４歳～小学生750円）。予約不要。雨天時は館内開催か中止。同館☎078・891・1284

環境学部

◆いがりまさし先生の特別園内ガイド　５月24、31日、11～12時、六甲高山植物園西入口集合（六甲ケーブル「六甲山上駅」から六甲山上バス「ミュージアム前」）。写真家・植物研究家として活動し、「日本のスミレ」などについての著書がある、いがりまさしさん＝**写真**＝が解説。無料（別途入園料中学生以上900円、４歳～小学生450円）。申し込み不要。雨天決行、荒天中止。同園☎078・891・1247

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

六甲大学 ROKKO-SAN DAIGAKU
六甲山大学・情報凝縮サイト
653daigaku.com
わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています
協賛企業
Daiwa House
想いをかたちに 未来へつなぐ TAKENAKA
六甲山観光株式会社 KOBE Mt.Rokko ART & TOURISM Co., Ltd.
（順不同）
【実行委員会】六甲摩耶観光推進協議会／摩耶山観光文化協会／灘百選の会／神戸観光局／神戸新聞社　【事務局】神戸新聞地域創造内　e-mail:info-653@kobe-np.co.jp